

☆波積ダム本体

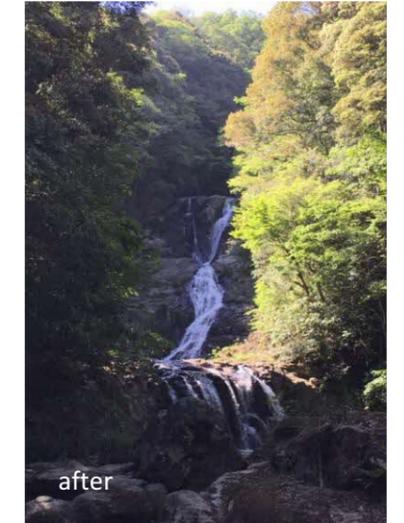
現在、波積ダム本体建設工事では、基礎掘削工（ダムを施工する場所の土砂や岩盤を取り除く工事）と仮設備設置工（コンクリートの骨材を貯蔵する施設など）を着々と進めています。なお、ダムカートの配布及びダム見学は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時休止しています。



工事概要：堤高 H=48.2m
堤頂長 L=126.0m
掘削工 V=39,500m³
基礎処理工 L=7,489m
堤体工 V=67,280m³

☆岩瀧寺の滝

令和2年3月に波積ダム上流に位置する岩瀧寺の滝の周辺を伐採しました。今まで生い茂っていた木々が伐採されたことにより、滝本来の迫力をより一層感じることができます。

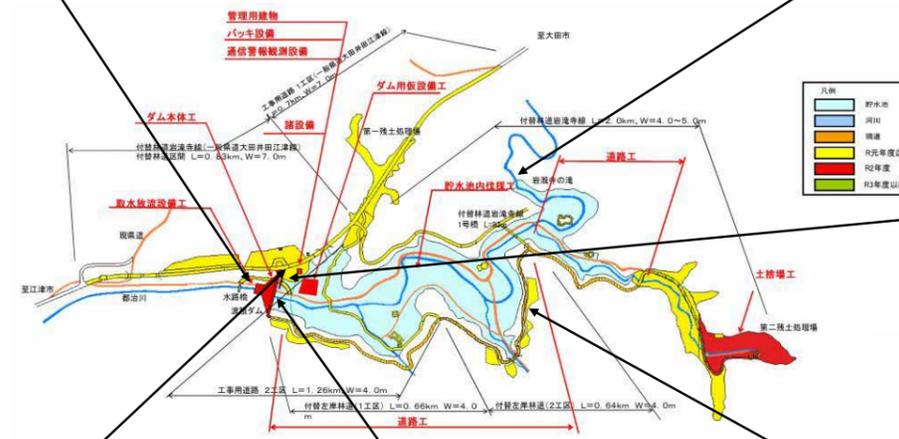


【令和2年4月時点】 ※各工程については工事の進捗により変更する場合があります。

全体工程

工種	夜間施工	施工予定期間				
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
転流工工事		H30.3				
仮設工						
トンネル工						
仮設撤去						
ダム本体工事		H30.12				
準備工・仮設備						
上下流仮締切工						
基礎掘削工						
コンクリート工						
基礎処理工						
取水放流設備						
閉塞工						
天端道路(橋梁)						
右岸取付道路						
左岸取付道路						
取付護岸工・護床						
その他工事						
ダム管理所						
ダム管理設備						
伐採						
用水路橋						
試験湛水						
ダム管理						

令和2年度波積ダム建設事業平面図



☆波積ダム本体建設工事 基礎掘削工事

波積ダム本体建設工事の基礎掘削工事は、「機械掘削」と火薬を使った「発破掘削」を併用して行っています。機械掘削は超低騒音フレカを使用し、作業環境及び周辺環境に配慮しながら工事を進めています。



☆波積ダム本体建設工事 基礎処理工(カーテングラウチング)

カーテングラウチングは、ダム湖の水が、ダム堤体の下を抜けて下流へ漏水するのを防ぐことを目的としています。ダム基礎岩盤をボーリング削孔し、セメントミルクを注入することで一枚の壁を形成し、遮水性にすぐれた岩盤に改良します。



この機材を使ってセメントミルクを注入し、岩盤の改良を行っています。

☆波積ダム建設工事 岩盤検査

コンクリートダムでは、掘削完了後、基礎地盤に問題がないか「岩盤検査」を行います。基礎掘削の進捗状況に合わせて、岩盤スケッチ図(地質・岩種区分、断層、割れ目、湧水等)を作成し、本体JVと当所職員による岩盤判定を行います。この岩盤スケッチ図を元に、岩盤ハンマーによる打撃音や、割れ目等から総合的に判定していきます。



☆付替左岸林道

道路をつくるための掘削作業が完了しました。R2年度に側溝掘付や斜面を保護する工事、舗装を行い、付替道路を完成させます。

